

みんなで持続可能な 滋賀社会をめざそう！

～ 私たち地域住民はどう参画していくのか～



絵：持続可能な滋賀社会ビジョンまちづくり抜粋

2030年に温室効果ガス(CO₂)を半減(50%削減)と琵琶湖環境の再生をめざす「持続可能な滋賀社会ビジョン」は滋賀で暮らすすべての人々、事業者、自治体にとって大切な計画です。これから県内を8つの地域に分けて、地域ごとの政策とロードマップ作りが始まります。持続可能な滋賀社会の実現のための方策、政策手法の研究者や滋賀県の環境政策担当者から話題提供をいただき、持続可能な地域作りに向けて、私たちは何ができるのか、地域住民はどう参画することができるのか、一緒に考えましょう。

日 時：平成21年(2009年)12月12日(土)午後1時～4時

場 所：滋賀大学大津サテライトプラザ会議室 (JR大津駅前平和堂アル・プラザ大津5F)

話題提供：金 再奎さん(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 主任研究員)

中野 桂さん(滋賀大学環境総合研究センター 副センター長 准教授)

海東 聡さん(滋賀県琵琶湖環境部環境政策課環境政策担当 主幹)

奥田 一臣さん(滋賀県琵琶湖環境部環境政策課温暖化対策室 主査)

対 象：一般

資 料 代：200円

主 催：滋賀大学「環境学習支援士」会

共 催：滋賀大学(生涯学習教育研究センター)

定 員：30名(先着順、定員に達し次第締め切り)

申し込み・問合せ：滋賀大学「環境学習支援士」会(大津市平津2-5-1 滋賀大学425号室)

電話 077-537-7821

FAX 077-563-5680

E-mail shiga-u-shiensi@ap.lolipop.jp

【ねらい】

私たちは、将来世代への責任者として、滋賀の風土や地域資源を活用しながら持続可能な滋賀を「琵琶湖をはじめとする滋賀の環境と生態系が健全に保たれバランスのとれた経済発展を通じて、すべての地域住民が生活の向上が図られている豊かで安全な社会」への転換が問われます。私たちはこの取り組みの着実な前進に向け何ができるのか、どう参画していくのか一緒に考えます。

【プログラム】

13 時開会

13 時 05 分 ~ 14 時 05 分	持続可能な滋賀への道筋（ロードマップ）	金 再奎さん
14 時 10 分 ~ 14 時 40 分	スロー・イノベーション - 持続可能な技術と地域力 -	中野 桂さん
14 時 40 分 ~ 15 時 10 分	第 3 次滋賀県環境総合計画とロードマップ作りについて	海東 聡さん 奥田 一臣さん

15 時 10 分 ~ 15 時 50 分 分散会と報告

15 時 50 分 ~ 16 時 00 分 まとめとアンケート

【話題提供者・団体紹介】

金 再奎さん（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 主任研究員）

専門は環境システム工学。「持続可能な社会システムに関する政策課題研究」を担当され、滋賀の持続可能な社会への転換につながる有効な対策、政策手段を提案することをめざしています。

中野 桂さん（滋賀大学環境総合研究センター 副センター長 准教授）

専門は産業組織論、環境政策。持続可能性指標にかかわる研究のほか、学生とともに大学直通の BDF バスを走らせたり、NPO 法人エコ村ネットワークの理事として活動をしています。

海東 聡さん（滋賀県環境政策課環境政策担当 主幹）

奥田 一臣さん（滋賀県環境政策課温暖化対策室 主査）

担当は滋賀県環境総合計画(海東) および低炭素社会実現ロードマップ(奥田)。持続可能な社会の実現に向けて、県民や事業者等と連携しながら全県的に取り組みが進むように努めています。

【コーディネーター】滋賀大学「環境学習支援士」会 地域や学校にあって自ら先頭に立ち、適切な指導・助言を行いながら、環境教育・学習に関する実践と交流・支援を行い、県内の環境問題の解決要求に応える活動をめざしています。

【会場】滋賀大学大津サテライトプラザ会議室

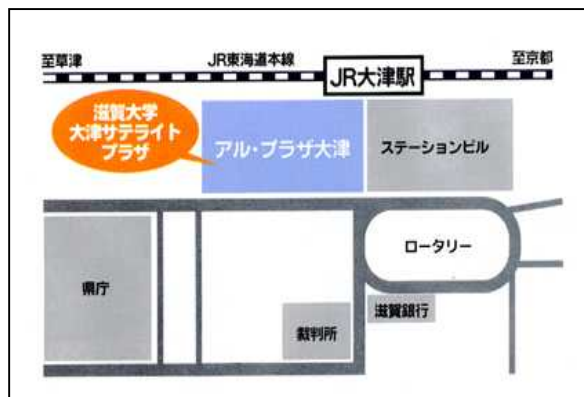
(JR 大津駅前平和堂アル・プラザ大津 5F)

大津市春日町 1 - 5 アル・プラザ大津内

電話・FAX: 077-524-3692

JR 大津駅から徒歩 3 分

駐車場なし。公共交通機関か徒歩でおいでください。



参加申込書	FAX077-563-5680 (橋田)	E-mail: shiga-u-shiensi@ap.lolipop.jp
お名前(ふりがな)	ご所属	
連絡先住所(自宅・勤務先)〒		
連絡先電話	FAX	E-mail

TO: 滋賀大学「環境学習支援士」会

*お書き頂いた情報は、シンポジウムの連絡のみ使用します。